

まちづくり交付金 事後評価シート  
中山道太田宿地区

平成22年3月

岐阜県美濃加茂市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県	市町村名	美濃加茂市	地区名	中山道太田宿			面積	317
交付期間	平成17年～平成21年	事後評価実施時期	平成21年	交付対象事業費	711	国費率	0.422		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業		道路(蜂屋太田線バリアフリー歩道整備事業)、地域生活基盤施設(市街地サイン整備事業)、高質空間形成施設(中山道散策道整備事業)、高次都市施設(中山道パーク整備事業)						
	提案事業		地域創造支援事業(中山道まちなみ整備事業)、事業活用調査(まちづくり地域住民意識調査事業)						
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	基幹事業	道路(鳥加茂野線バリアフリー歩道整備事業)、既存建造物活用事業(市民交流施設整備事業)		・地域活力基盤創造交付金で施工するほか、活用の用途を変更し他の事業として整備を行うため削除			・他事業で実施されるため、影響なし		
提案事業	まちづくり活動推進事業(ボランティアセンター推進事業)		・シュロス跡地利用計画の中止により、整備事業が執行不可となったため、事業を削除			・事業の削除により、指標の数値に間接的な影響が考えられるが、用途を変更し別事業として実施することから指標及び数値目標は据え置く			
新たに追加した事業		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
基幹事業	道路((仮)市道御門625号線)、地域生活基盤施設(神明ポケットパーク整備事業、保育園耐震補強事業、(仮)かわまち広場整備事業)		・歩行者の安全確保のため追加したほか、整備が望まれていた当該施設を追加、古井第二保育園を安心安全に集える施設とする耐震補強工事を追加した			・事業の追加により、指標の数値に間接的な影響が考えられるが、指標及び数値目標は据え置く			
提案事業	地域創造支援事業((仮)かわまち広場整備事業、事業効果分析事業、旧シュロス利用計画調査事業)		・既存建造物(旧シュロス建物1棟)の撤去と、広場のトイレ等に給水する水道管を布設するため追加			・事業区分の変更による追加のため、影響なし			
交付期間の変更		当初変更	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-				

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	中山道太田宿来観光客数	(人/年)	129,000	H15	220,000	H21	224,700	○	あり	中山道会館を整備を始めとする中山道太田宿の魅力の向上に繋がる整備を実施したことにより、目標が達成できたと考えられる。また、観光客の増加は、地域の経済波及効果にも寄与したと考えられる。	H22.5	
指標2	修景工事施工件数	(件)	5	H15	15	H21	11	△	あり	建物修繕に対し補助金を交付することや中山道太田宿の魅力向上に繋がる各種整備の実施により、修景工事件数は増加傾向にあるが目標の達成には至っていない。	H22.5	
指標3	散策道利用者数	(人/年)	55,000	H16	110,000	H21	238,000	○	あり	高質空間形成施設の中山道散策道整備により、散策道の安全性及び快適性が向上され、利用者数の増加に繋がったと考えられる。	H22.5	
指標4	ボランティア登録者数	(人)	806	H16	2,000	H21	1,647	△	あり	中山道会館の開館以降、来訪者に対する観光案内の活動が活発化し、ボランティアの登録者数は着実に増加しているが、目標の達成には至っていない。	H22.5	

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	鉄道駅乗降客数	(人/日)	2,743	H16			2,940			中山道会館の整備のほか、市街地サイン整備や神明ポケットパーク整備など、中山道太田宿の魅力向上に繋がる整備を実施したことや、ボランティアによる観光案内の実施により乗降客数の増加に寄与したと考えられる。	H22.8	
その他の数値指標2	ボランティア団体数	(団体)	56	H16			82			中山道会館の整備に併せてNPO法人が設立されるなど、地域住民の地域活動へ意識が高揚しており、ボランティア団体の増加に繋がったと考えられる。	H22.5	

4) 定性的な効果発現状況

- ・中山道会館は市の観光地として紹介できるようになったほか、展示室など見る場所も増え、観光客の滞在時間が増加したと思われる。
- ・神明ポケットパークについては、地域住民の要望から整備されたものであり、整備後も清掃や植栽などを地域住民が率先して実施している。
- ・若い人が観光パンフレット『みのおお探』を作成するなど、若者の歴史や景観に関する関心が向上してきたと思われる。
- ・中山道太田宿の観光の拠点ができたことによって、地域住民が観光に対して自信を付けてきたように思えるほか、各種NPOにおいても観光に対する意識の高揚が感じられる。

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた			
	住民参加プロセス	中山道会館を整備するにあたり、施設機能の検討や展示内容・建物等の配置・建物の構造等について検討を行うことを目的に住民参加によるワークショップ形式の会議を開催した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	中山道会館の開館後については、イベント時や地域活動の拠点として中山道会館の活用を図っていく。	
持続的なまちづくり体制の構築	古い街並みを残す中山道太田宿を活性化するための地域活動を継続的に行うため、地域の活動団体が中心となり、『特定非営利活動法人宿木』を設立した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	市民や中山道愛する人々に対して中山道太田宿の活性化に関する事業を行い、美濃加茂市の文化・史跡・景観を護り、新しい中山道のまちづくりに寄与するとともに、中山道太田宿を中心としたまちづくりのための地域活動を展開する諸団体及びグループの連絡、調整、助言、援助の活動を行っていく。		

## 様式2-2 地区の概要

### 中山道太田宿地区(岐阜県美濃加茂市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標: 中山道太田宿を中心としたエリアの道路と施設の一体整備を行うことにより歴史と文化にふれあうまちづくりを推進し、地域住民の交流と観光及び商店街の活性化をめざす。 ○目標1: 観光と市民交流の拠点整備によりまちを再生し活性化する。 ○目標2: まちなみの修景、散策道の整備により観光客と地域住民の歩行者の増加を促し、活力あるまちづくりを推進する。 ○目標3: コミュニティ及びボランティア施設の整備により市民参加を促進する。	中山道太田宿来観光客数	単位:(人/年)	129,000 H15	220,000 H21	224,700 H21
	修景工事施工件数	単位:(件)	5 H15	15 H21	11 H21
	散策道利用者数	単位:(人/年)	55,000 H16	110,000 H21	238,000 H21
	ボランティア登録者数	単位:(人)	806 H16	2,000 H21	1,647 H21
	鉄道駅乗降客数	単位:(人/日)	2,743 H16	- H21	2,940 H21
	ボランティア団体数	単位:(団体)	56 H16	- H21	82 H21



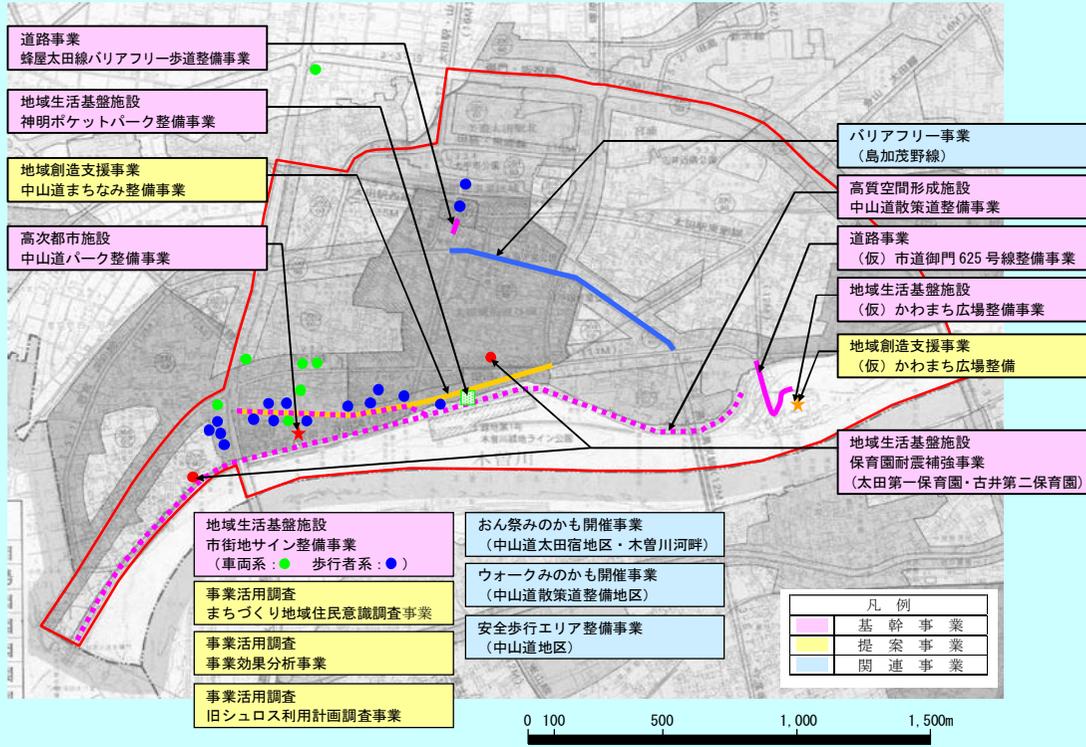
■蜂屋太田線



■中山道散策道



■神明ポケットパーク



■中山道会館



■市街地案内サイン



■修景整備された建物

#### まちの課題の変化

- ・中山道太田宿沿道の家屋や店舗などの修景整備を行ったことにより、中山道太田宿の街並み景観が向上した。
- ・平成19年度において、中山道太田宿の歩行者・自転車の回避ルート等の整備に活かすため、NPO法人等が中心となり、社会実験が実施されており、地域住民からも高く評価されている。
- ・拠点として整備された中山道会館の維持管理のほか、古い街並みを残す中山道太田宿の活性化に向けた地域活動を継続的に行うため、地域の活動団体が中心となり、『特定非営利活動法人宿木(NPO法人)』が設立された。
- ・神明ポケットパークについては、地域住民の要望から整備されたものであり、整備後も清掃や植栽などを地域住民が率先して実施している。
- ・中山道太田宿の観光の拠点ができたことによって、地域住民が観光に対して自信をつけてきたように思えるほか、各種NPOにおいても観光に対する意識の高揚が感じられる。

#### 今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・来訪者へのサービス向上を目指し、ボランティアによる観光案内のPRの充実や幅広い年代のボランティアの育成を推進する。
- ・整備した中山道会館や既存の地域資源である旧太田脇本陣林家住宅等、中山道の観光拠点の活用を図るとともに、対象地区周辺にある観光拠点とも連携を図り、地区を越えた観光振興の充実を目指す。
- ・歴史的な街並みの一体的な整備に向け、中山道太田宿沿道の家屋や店舗などの修景整備を継続していきけるよう、地域住民への意識啓発を推進するほか、継続的な支援を検討する。
- ・現在、策定を進めている景観計画に基づき、当該地区の歴史的な資源の保全・活用を推進する。
- ・中山道太田宿を回避する歩行者の安全性向上のため、バリアフリー整備の整備区間の延長を検討するほか、中山道の歴史的な街並みに併せたイメージジャンプの設置やカラー舗装化など、中山道を通る自動車の速度抑制に向けた取り組みを検討する。
- ・中山道沿道を始めとする地区内道路において、夜間の歩行者空間の安全性向上に向け、現在設置してある照明の改良(LED化等)のほか、街路灯や防犯灯の拡充を検討する。